

撫養高架橋施工工事

Construction of MUYA Viaduct

川田建設(株)・大阪支店

1. 工事紹介

本橋は、本州四国連絡橋の神戸～鳴門ルート of 四国側に建設される、PC連続箱桁橋 (550m) である。

当橋は、地上からの計画高が、約8m程度に計画されている事から、経済性、施工性を考慮し、支保工転用に依る分割施工を採用した。

工事は、P19橋脚より片押しで行なうが、工期的に、S60.3～S61.12の630日と厳しい条件である為、コンクリート打設を上床板まで一度で打ち上げる方法を採

用し、工期短縮に努めた。

又、分割施工を採用した事で、目地部の応力性状等を現地にて測定管理し、構造物の品質向上に努めた。

- i) 目地部における、プレストレス応力分布領域の計測把握と補強
- ii) 目地部における、コンクリート硬化熱に依る応力分布の把握と補強など。

2. 工事概要

路線名	: 一般国道28号
構造形式	: PCポストテンション連続箱桁
橋長	: 558m
主要材料	: コンクリート 5000m ³
	: PC鋼材 (SEEE) 120t
	: 鉄筋 860t



図-1 位置図

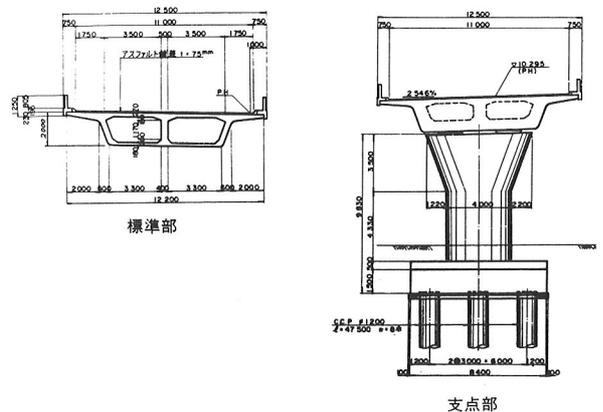


図-3 断面図

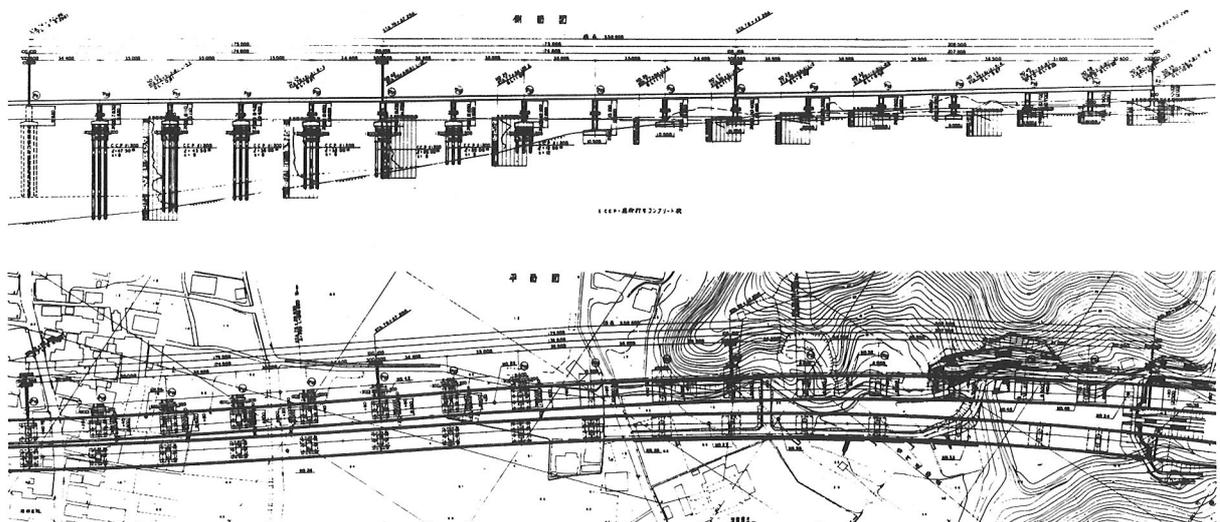


図-2 橋梁一般図